



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

***The Sumitomo Trust &
Banking Co., Ltd.***



住友信託銀行 (証券コード:8403)

平成20年9月25日

信託世代の、
住友信託銀行

- 業務内容、ビジネスモデル
- 収益状況
- 財務状況
- 特徴あるリテール業務
- 株主還元策

住友信託銀行の概要(平成20年3月末現在)

- ▶ 設立 1925年(大正14年)
- ▶ 資本金 2,875億円
- ▶ 貸出金 11兆4,803億円
- ▶ 信託財産 90兆5,340億円
- ▶ 従業員数 5,869人
- ▶ 拠点数 国内62ヶ所 海外8ヶ所
- ▶ 関係会社数 連結子会社36社 関連会社7社
- ▶ 発行済株式数 普通株式:16億7千万株 優先株式:無し
- ▶ 個人株主比率 7.9%(外国人株主比率38.3%)
(参考)平成19年3月末 個人5.2%、外国人38.6%

住友信託銀行の幅広い業務内容

- ▶ 銀行業務に加え、年金・証券管理など信託業務や、仲介を中心とする不動産業務など幅広い業務
- ▶ 「銀行・信託・不動産兼営」の強みを活かし、「お客様に高い価値を提供する」

	銀行業務	信託業務			不動産業務
	マーケット資金事業 398億円*	証券代行 77億円*	年金及び投資マネージ 224億円*	証券管理サービス 172億円*	269億円*
法人のお取引先	- 商業銀行業務 - 投資銀行業務 (市場型与信) 貸付・年金・代行のいずれかのお取引先社数 5,000社 851億円*	- 証券代行 管理会社数 (JTAS) 1,500社	- 機関投資家向け運用 - 年金制度管理 運用資産 (住友信託) 25.5兆円	- カストディ管理資産 (JTSB) 185.2兆円 - グローバル・カストディ管理資産 (米国住信) 1,790億ドル	- 業務用仲介 - 不動産証券化 - J-REIT - 不動産投資顧問
個人のお客様	- 預金 - 投資信託、個人年金保険 - 住宅ローン - プライベートバンク 預金・投信等のお取引のあるお客様の数 2百万人 303億円*	管理株主数 (JTAS) 9百万人	- 投資信託 (運用) 運用資産 (STAM) 1.5兆円	- 投資信託 (管理) 管理資産 (住友信託) 22.5兆円	- 住宅仲介

平成20年3月末現在 JTAS:日本TAソリューション(株) STAM:住信アセットマネジメント(株) JTSB:日本トラスティ・サービス信託銀行(株)

* 数字は、平成19年度連結実質業務純益(2,168億円)の事業毎の内訳。但し、資本調達・政策株式配当等の収支及び純粹本部のコストなど「その他」として計上しているものは除く。

住友信託銀行のビジネスモデル

経営モデル: 「銀行・信託・不動産兼営」の特長を活かした持続的成長

個人のお客様とともに歩む
「資産運用・資産管理のメインバンク」

法人・機関投資家の皆様に価値を提供する
「戦略的パートナー」

基本方針: 「信託らしさ」「住信ならではの」への徹底的な拘り

「信託らしさ」

- ▶ 受託者精神
- ▶ お客様の側に立つ
- ▶ 一つ一つ丁寧に、
ベストなソリューションを提供

「住信ならではの」

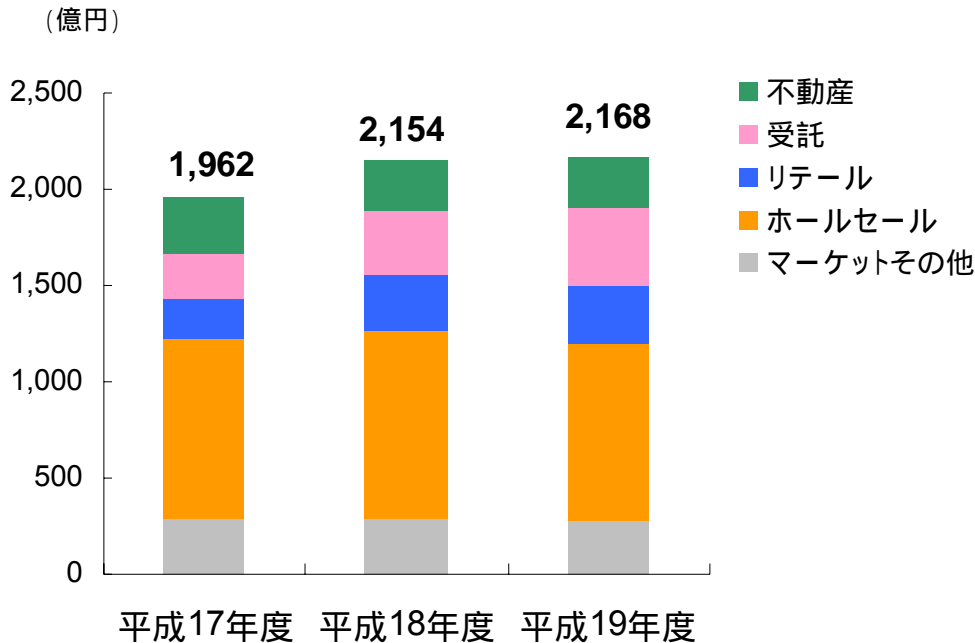
- ▶ 「多様性」
- ▶ 「創造性」
- ▶ 「スピード」



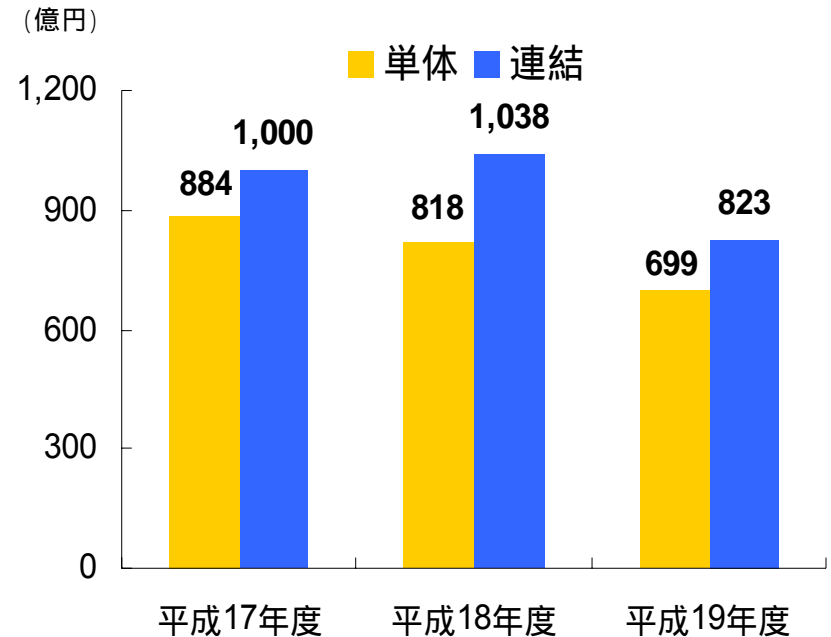
収益状況

- ▶ 平成19年度は、下期にリテール事業における投信販売および不動産事業における仲介業務が苦戦する一方、受託事業が受託資産拡大により好調に推移したため、実質業務純益は前年度並みを確保
- ▶ 当期純利益については、海外投融資に関する損失計上を主因として、前年度比約2割減の823億円

▶ 実質業務純益* (連結)



▶ 当期純利益 (単体・連結)



* 実質業務純益: 不良債権の処理などに係る与信関係費用を除いた、収益実勢を表わす営業利益

財務状況

- ▶ 財務の健全性を示す指標は引き続き大手行でトップクラスを維持
- ▶ 外部評価である格付についても、引き続き高格付を維持

銀行名	(比率:平成20年3月末)			(格付:平成20年9月19日現在)			
	自己資本比率	Tier1比率	不良債権比率*	スタンダード&プアーズ		ムーディーズ	
				基礎信用力	長期	財務格付	長期預金
住友信託銀行	11.84%	7.33%	0.9%	B	A+	C	Aa3
三菱東京UFJ銀行	11.19%	7.60%	1.2%	B	A+	C	Aa2
みずほ銀行	11.70%	7.40%	1.6%	B	A+	C	Aa2
三井住友銀行	10.56%	6.94%	1.2%	B	A+	C	Aa2
中央三井信託銀行	13.84%	10.82%	1.7%	B	A	C-	A1

* 金融再生法開示債権ベース

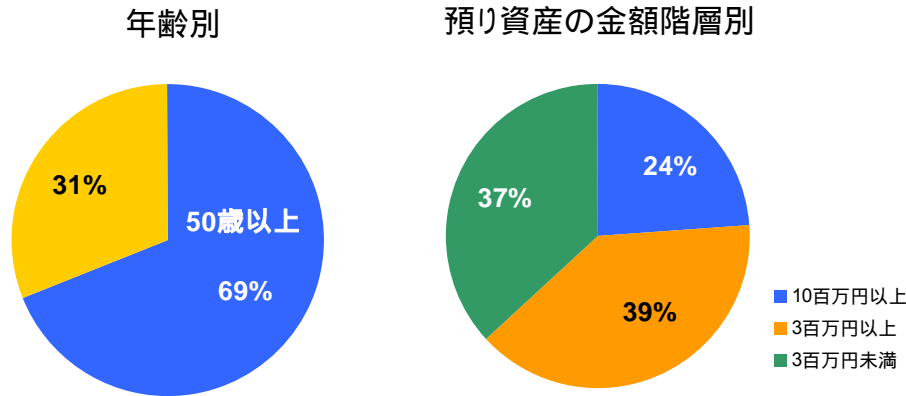
出所:会社資料、ムーディーズ、スタンダード&プアーズ

(注)三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、中央三井信託銀行の自己資本比率およびTier1比率については、持株会社(連結)のものを記載しております。また、不良債権比率については、持株会社傘下行合算ベースのものを記載しております。

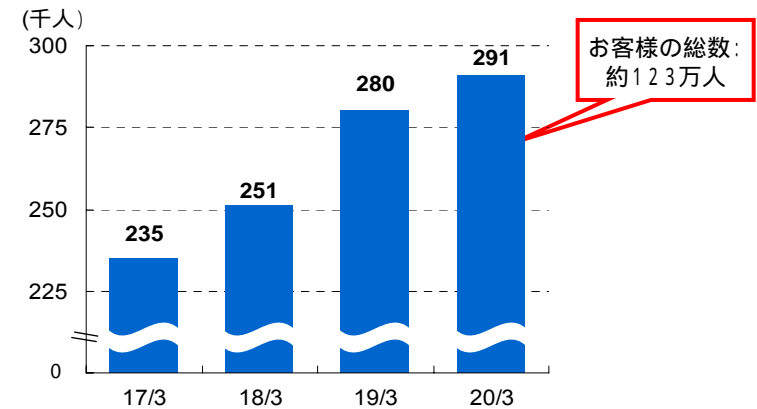
住友信託銀行のリテール基盤の特徴

- ▶ 「貯蓄から投資へ」の流れの中心となるお客様の層(中高年、富裕、長期投資家)を有する強み
- ▶ 預り資産10百万円以上のお客様の層が着実に増加(過去3ヵ年で+約24%)
- ▶ 投資信託の保有比率も着実に進展(定期預金契約者全体のうち22%が投信も保有)

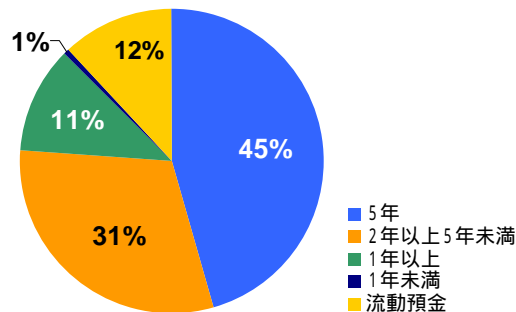
【当社リテールのお客様数*の構成(平成20年3月末)】



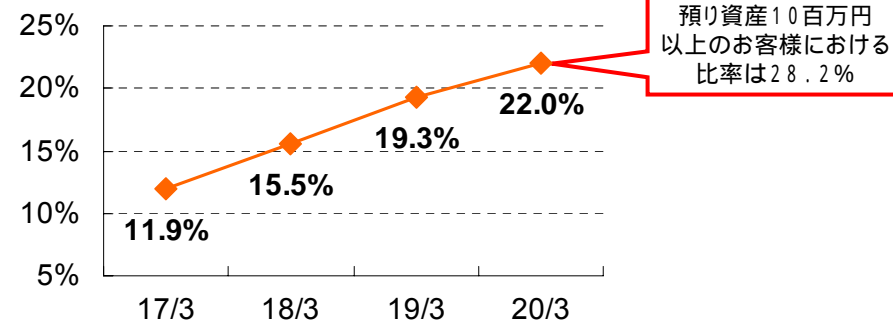
【預り資産10百万円以上のお客様数*推移】



【預金の預入れ期間別の構成(平成20年3月末)】



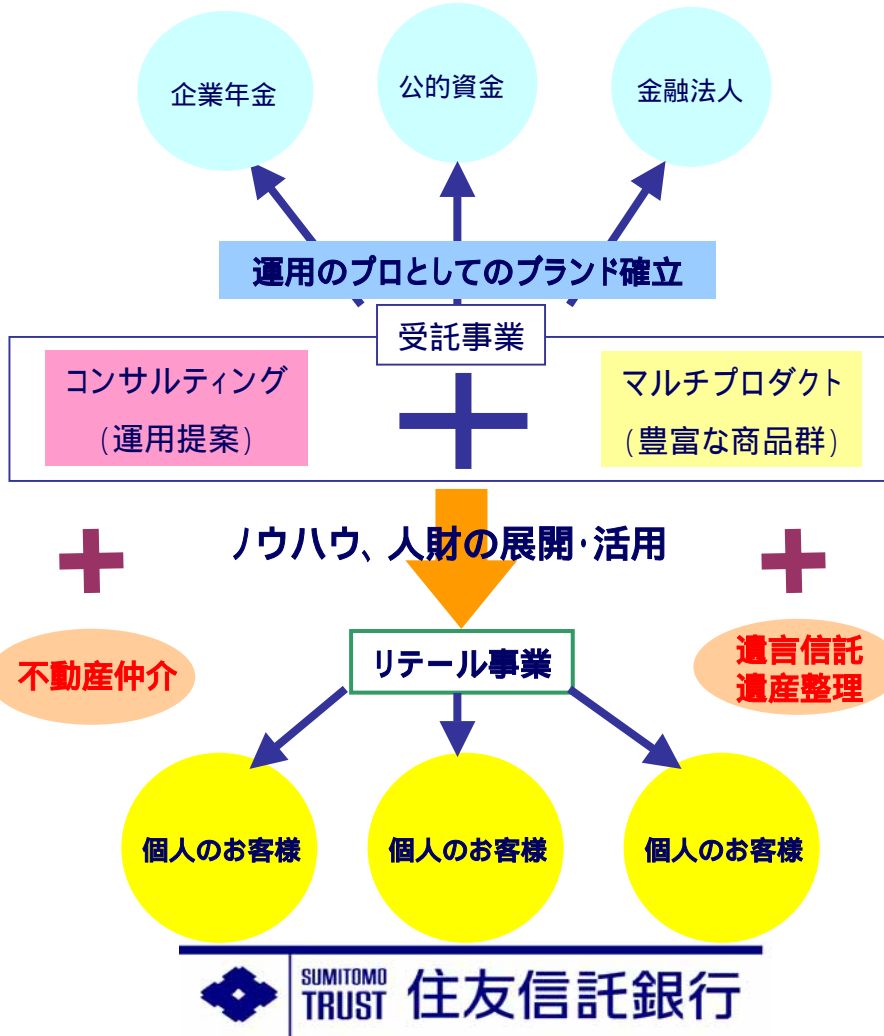
【当社リテール全体のお客様*のうち投資信託取引有りの比率の推移】



「住信ならではの」のリテール事業

- ▶ 機関投資家向けのコンサルティングや運用商品組成で培ったノウハウを富裕層にも提供
- ▶ 不動産仲介、遺言信託・遺産整理など信託ならではの機能を活用した総合力の発揮

【住信ならではのビジネスモデル】



【住信ならではのサービス】

資産運用のノウハウ

年金基金などで培ったポートフォリオ構築のノウハウ活用
 自社商品 + 外部の商品による豊富な商品ラインアップ
 個人投資家では投資しづらいオルタナティブ商品*への投資
 * 株式・債券など伝統的商品以外の商品

不動産事業の強み

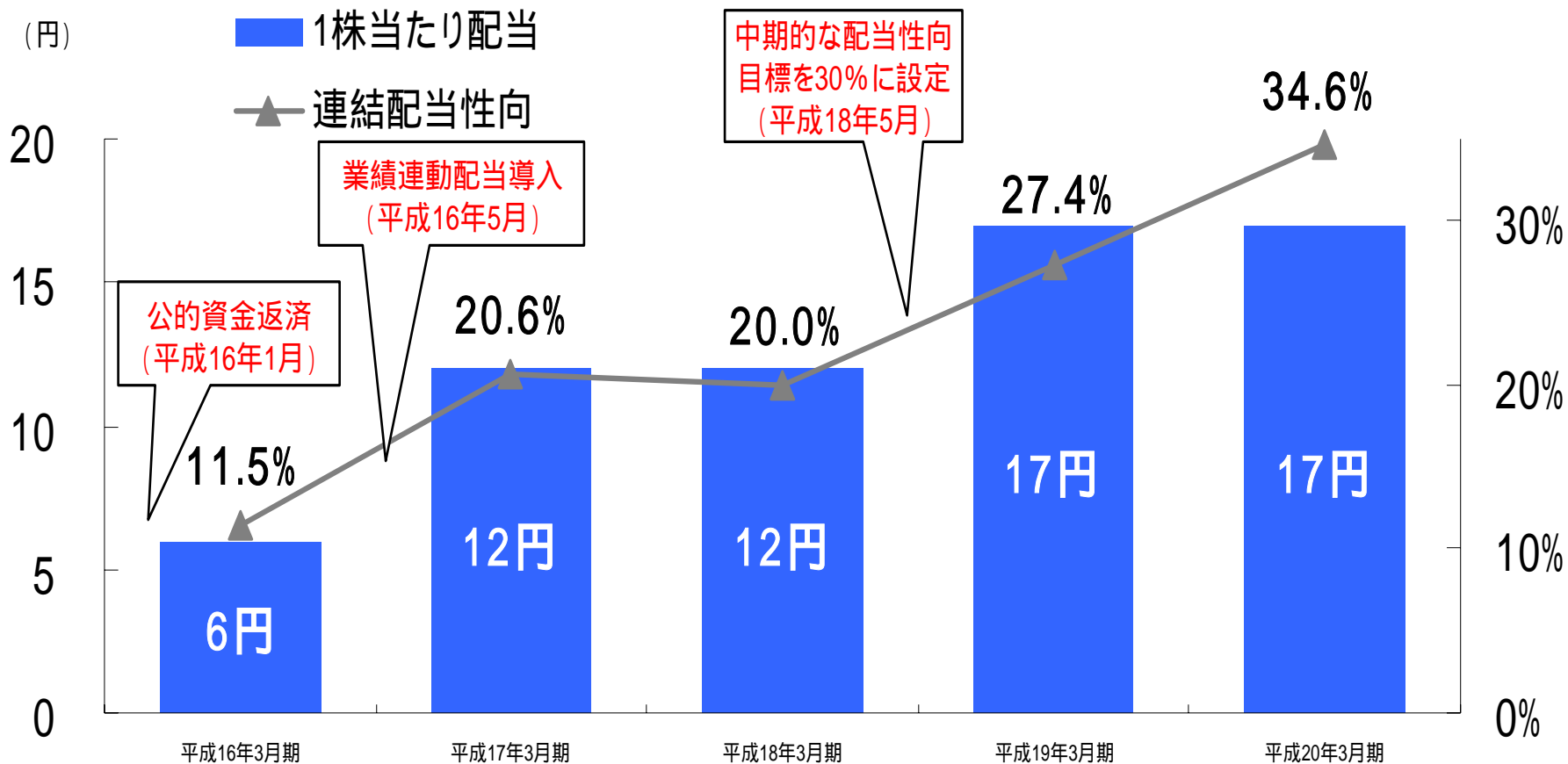
創業以来の歴史を誇る不動産事業におけるノウハウ
 仲介、証券化、投資顧問、貸し付けなど、不動産に関連した業務を幅広く取り扱う「不動産総合事業」の展開
 個人のお客様に対しては、子会社(すみしん不動産)と協働して投資用物件を提供

資産承継のサポート

財務コンサルタントによる資産運用・管理のコンサルティング
 遺言信託・遺産整理を活用した円滑な資産承継のサポート
 法人部門とも協働し、事業承継をサポート

株主還元策

- ▶ 平成16年から業績連動配当導入済み
- ▶ 中期的に連結配当性向30%程度を目標



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。